

# カルタで学ぶ吃音

## 悩む子どもにメッセージ



「日本吃音臨床研究会」(大阪府寝屋川市)は、吃音者の思いや体験談を読み札にしたカルタ1000セットを製作した。楽しく遊びながら、吃音について理解を深めてもらう内容となっている。

同研究会は「吃音を否定せず、上手に付き合う」ことをモットーに、20年にわたって親子サマーキャンプを開催するなど、交流活動を続けてきた。

カルタ製作は、「現在吃音に悩む子どもたちに、カルタに込めたメッセージを通して、共感や勇気を与えたい」との思いから計画。

吃音者の自助グループのメンバーや、言語障害児が通級する「ことばの教室」の児童らに、読み札となる文を寄せてもらい、その中から44作品を選んだ。

「『もういいかい』 言

吃音者の思いなどが読み札に込められたカルタ ▶

われて出ない 『まあだだよ』」「くやしいなあ 名前が出ない 面接で」といった子ども時代や学生時代のつらかったエピソードのほか、「プロポーズ どもって言うのが、いいみたい」「にっこりと 笑ってどもれば 世界が変わる」といった前向きな思いも紹介されている。

柔らかなタッチの絵で表現された取り札は、吃音の子どもを持つ保護者が描いた。「吃音者同士だけでなく、家族ら周囲の人と一緒に遊ぶことで、吃音への社会的な理解が深まってくれば」と同研究会の伊藤伸二会長は期待している。

1000円。購入の申し込み、問い合わせは電話かファクスで、同研究会(072・820・8244)へ。